

# 輸出事業計画

※申請者名：ヨンキュウ、品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

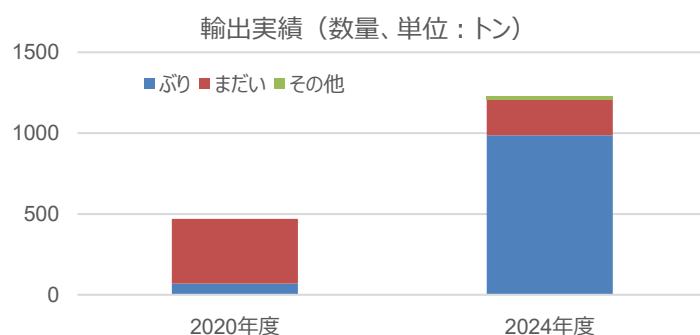
## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウントン）

(背景) 輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

(追い風) 日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等  
(実態) 北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

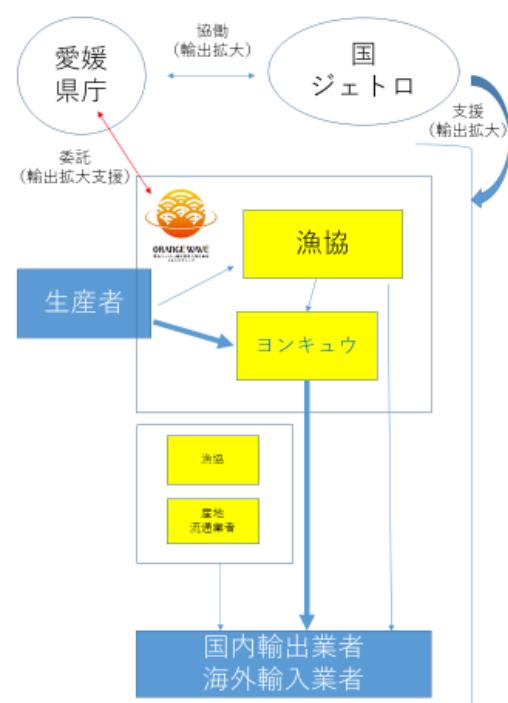


### 【課題】

- 輸出～さらなる輸出拡大に向けて～
  - ・HACCP施設の維持拡大
  - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
  - ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
  - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
  - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
  - ・ビハインド（価格等）
  - ・マーケットニーズの把握

## 2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HACCP施設整備、改修</li> <li>・輸出拡大に必要な機器の整備等</li> </ul>
輸出障壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出証明書の迅速な申請体制の整備</li> </ul>
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HACCPプラン実行、FSMA対応</li> <li>・グリーンリスト取得</li> </ul>
漁業認証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証取得及び維持</li> <li>・現地ニーズの把握</li> </ul>
戦略商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛育フィッシュ（ブリ、マダイ）</li> </ul>
認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県プロモーション活動への参加</li> <li>・国（ジェトロ）と一緒にしたプロモーション活動への参加</li> </ul>
ビハインド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多量多品種の強みを生かした輸出</li> <li>・共同集荷輸送の検討</li> </ul>
マーケットニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会等への参加</li> <li>・海外バイヤーやシェフ等の招聘等</li> </ul>



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

# 輸出事業計画

※申請者名：ヨンキュウ、品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標

愛媛県産ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	72,000kg	1,260,000kg	+1,188,000kg
輸出先国	米国	米国・EU	-
愛媛県産まだい	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	400,000kg	500,000kg	+100,000kg
輸出先国	韓国	韓国・米国	米国等
愛媛県産その他	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	-	若干	若干
輸出先国	-	米国・韓国	米国等